

# 患者さんへの臨床研究のお知らせ

## 臨床研究「同種骨髄移植の骨髄液中ヘパリン量と 活性化部分トロンボプラスチンの関連に関する研究」について

自治医科大学附属さいたま医療センター 血液科では、下記の臨床研究を実施しております。この研究は、当センターでの診療で得られた過去の記録をまとめることによって行われます。「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に従い、対象となる患者さんから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせがございましたら、下記へご連絡下さい。

### 【研究目的】

骨髄移植では、ドナーさんから採取した骨髄液が固まらないように、ヘパリンという抗凝固物質を骨髄液中に混和しています。ヘパリンによる出血性合併症を予防するため、骨髄を輸注中には体内の凝固能の程度を調べる活性化部分トロンボプラスチン時間(APTT)を測定し、必要に応じてヘパリンの中和剤を使用しながら輸注を行っています。この研究では骨髄液に含まれるヘパリンの量と患者さんの移植中・移植後の APTT 値との相関を調べることで、骨髄液を輸注中の体内の凝固能の変動をあらかじめ予測することができるか調べることを目的としています。

### 【研究の対象となる方】

平成 19 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日までの期間で、当科で骨髄処理なしで同種骨髄移植を受けた患者さんです。

### 【研究の方法】

患者さんに移植した骨髄液に投与したヘパリンや移植中から直後の APTT についての情報をカルテから収集し、相関などを検討します。

### 【個人情報の取り扱い】

患者さんの情報は、個人の特定ができない形で本研究（学会発表や論文発表を含む）に使用させていただきたいと考えています。発表に際して患者さんの個人情報は保護されます。また、希望される場合には、他の患者さんの個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、研究の資料を入手または閲覧することができます。ご自身の情報が本研究に使用されることに同意されない場合には、下記へお申し出ください。研究に参加であっても、患者さんが不利益を被ることは一切ございませんのでご安心下さい。

### お問い合わせ先

〒330-8503 埼玉県さいたま市大宮区天沼町 1-847

自治医科大学附属さいたま医療センター

TEL 048-647-2111

研究責任者：血液科 神田 善伸